

どうとくのひろば

3年生の道徳の授業

主題名：目標を達成するために

ねらい：【希望と勇気、努力と強い意志】

主人公の気持ちや努力を続けられた理由を友達と話し合うことで、努力を続ける上で大切なことに気づき、目標を達成するために大切なことを考え、それを実践していこうとする態度を養う。

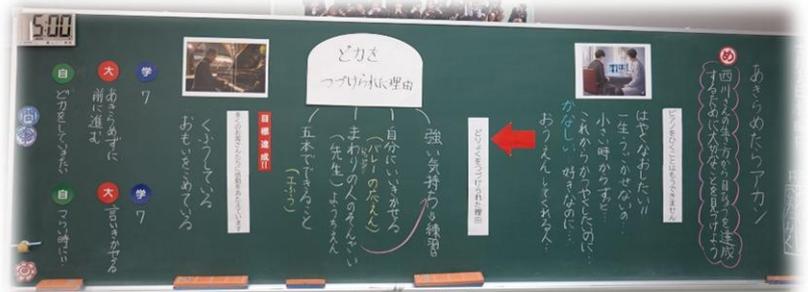
教材名：『あきらめたらアカン』

あらすじ

西川梧平さんは、大好きなピアノの練習を重ねてプロとして活動していましたが、病気で指が動かなくなり、医者から「もうピアノは弾けません」と言われ、大きなショックを受けます。しばらくは落ち込んで過ごしていました。そんなある日、子どもたちに「きらきら星を弾いて」と頼まれ、久しぶりに鍵盤に触れます。うまく弾けなかったものの、子どもたちが笑顔で歌ってくれた姿が、西川さんの心をもう一度動かしました。「できることからやってみよう」と気持ちを立て直した西川さんは、動く指を使って弾けるよう少しずつ練習を再開します。周りの人に励まされながら努力を続け、またステージで演奏できるようになりました。その演奏は、多くの人を感動させました。

授業での具体的な様子

授業のはじめに、これまでの学習で見付けてきた「目標を達成するために大切なこと」をみんなで振り返りました。そこで「どれも大切けどもうないのかな？」と問いかけると、「まだ他にもありそう」という声が上がりました。その流れから、「西川さんの生き方から、目標を達成するために大切なことを見付けよう」というめあてを確認して学習を始めました。その後、子供たちは、まず医者に「もうピアノは弾けません」と告げられた場面を読み返し、西川さんの気持ちを考えました。子供からは「今までの努力が消えたみたい」「これからどう生きればいいのか分からなくなったと思う」などの意見が出ました。ただ「悲しい」だけでなく、夢や生き方そのものを失ったような深い絶望に目を向ける姿が見られました。その後、「それでも西川さんが努力を続けられたのはなぜか」という視点で、クラゲチャートに「気持ち」「支えてくれた人」「工夫」「環境」などの観点から理由を書き出し、



し、友達の考え

も書き加えながら、多くの理由を見付けていきました。全体での話し合いでは、「人に喜んでもらったことが力になったから」「できることから工夫して続けたから」「応援してくれる人のためにもがんばろうとしたから」などの意見が出て、子供たちが「努力を続ける上で大切なこと」を自分なりの言葉で捉えていく様子が見られました。本時の授業の振り返りは以下の通りです。

- ・あきらめそうになったとき、西川さんみたいに自分なりの方法を考えることが大事だと思いました。努力は一人ではむずかしいけれど、周りの人がいると前に進めることにも気づきました。
- ・できなくても、やり方を変えたらまたがんばれることが大切だと気づきました。次からは、うまくいかないときほど、自分でくふうしてもう一度やってみたいです。

今回の学習を通して、子供たちは「努力を続けるために大切なこと」を自分なりに見付けていました。目標に向かう過程には、迷ったり落ち込んだりすることがありますが、そんなとき、支えてくれる人の存在や、自分で工夫して前を向こうとする力が子供たちの学びとなっています。ご家庭でも、お子さんが目標に向かって取り組む際に、励ましの言葉を掛けていただければ幸いです。

----- 切り取り -----

道徳だよりへのご質問・ご感想

() 年 () 組 児童名 ()